青東小だより

藤枝市立青島東小学校
学校だより　Ｎｏ．13
令和７年　２月　３日

笑　顔　あ　ふ　れ　る　学　校

長縄風景

体育の時間、肌を刺すような風が吹く中、子供たちは頬を真っ赤にしながら力を振り絞って持久走に取り組んでいます。また、みんなで声を掛け合い長縄の記録に挑戦する姿を見ていると、子供たちの可能性と、切磋琢磨する仲間の大きさを改めて感じます。まだ寒さは続きますが、そんな中でも子供たちは一歩一歩着実に成長しています。２月４日・７日の授業参観では、お子様のこの１年間の成長をぜひご覧ください。

図書委員による読み聞かせ

２月 26 日には「六年生ありがとうの会」で、これまでいろいろな場面でお世話になった６年生に、５年生が中心となって感謝の気持ちを届けます。きっと心温まるすてきな会になることでしょう。また、１～５年生にとっても、学年が上がることへの心構えを高める機会にしてほしいと願っています。

２月の主な行事計画

4	火	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ来校日 授業参観･懇談会（高、6･7 組）
5	水	藤枝市児童生徒図工美術展(～2/10)
7	金	授業参観・懇談会（低）
10	月	５時間授業
11	火	建国記念の日
12	水	PTA 運営委員会引継ぎ
13	木	新１年生入学説明会（午前）
16	日	家読の日
23	日	天皇誕生日　学校安全の日
24	月	振替休日
25	火	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ来校日
26	火	６年生ありがとうの会

藤枝 MYFC よりボールの寄贈がありました

藤枝 MYFC よりサッカーボールをいただきました。数に限りがあるため、高学年の学級に１つずつ配布しました。さっそく、休み時間などに持ち出して、楽しく遊んでいます。藤枝市の紫色を基調にしたすてきなデザインのボールです。

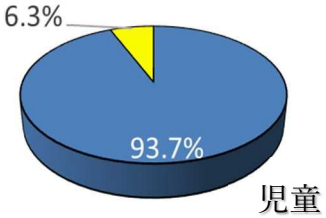
青島東小学校

令和６年度　青島東小学校「学校生活アンケート」の結果報告

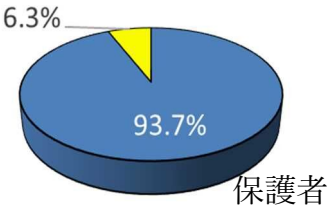
今年度、児童･保護者に実施したアンケート結果を分析しましたので、ご報告します。このアンケート結果から見える成果と課題を踏まえ、来年度の教育活動を計画していきます。

あてはまる　　あてはまらない

1　学校が楽しい（児童）

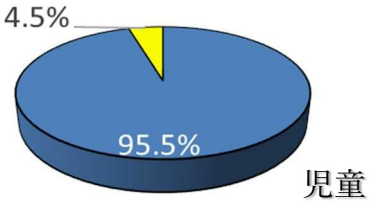


お子さんは楽しく学校に通っている。（保護者）

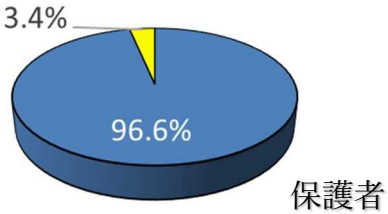


「学校が楽しい」「子供は楽しく学校に通っている」と感じている児童・保護者の割合が、高い数値を示しています。学校生活を楽しみにしている子供が多いこと、子供たちにとって安心して生活できる学校になっていることが感じられます。一方、「楽しくない」と感じている理由をみると、「学習に不安がある」「友達とトラブルになることがある」「朝起きるのが苦手」などが挙げられました。その思いを心に留め、少しでも課題や不安が解消できるよう、一人ひとりに寄り添いながら子供たちの笑顔を大切にしていきたいと思います。引き続き、学校教育目標「笑顔あふれる学校」に向けて、全職員が一丸となり取り組んでいきます。

2　友だちと仲良く生活する（児童）

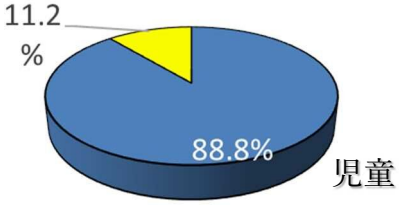


お子さんは友だちと仲良く生活している（保護者）

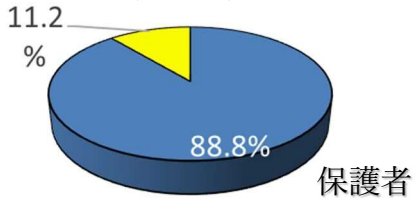


「友だちと仲良く生活している」と感じている割合が、児童・保護者ともに非常に高くなっています。授業や生活、行事等を通して、子供同士がかかわりあう場を大切にしている成果だと考えます。相手のことを思う心、サポートする心をいつも意識してきたことで、あたたかな心が育まれています。今後も、より豊かなかかわり合いがもてるよう、様々な場面で支援をしていきます。

3　授業がよくわかる（児童）

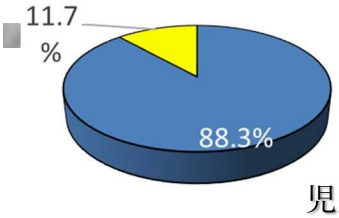


お子さんは授業の内容を理解している（保護者）

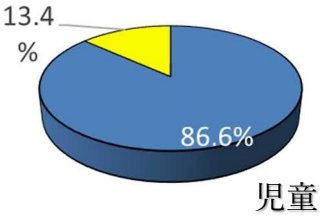


研修テーマ「聴いて 考え つなげる授業」をめざし、共生の学びと確かな学びを大切に、日々授業づくりに努めてきました。今年度は、研修テーマを子供の姿でとらえなおすことに力を入れて取り組みました。子供たちが学習に意欲的に取り組む姿が増え、学習の定着も図られました。今後も、友だちと協力しながら子供自らの力で課題を解決していくことで、「わかった、できた」と実感することを大切にし、学校全体で研修に取り組んでいきます。また、園との接続や小中一貫教育により、子供の学びや育ちが連続してつながっていくよう、取り組んでいきます。

4　あたたかく聴くことができる（児童）

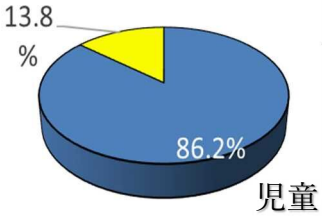


5　やさしく話すことができる（児童）

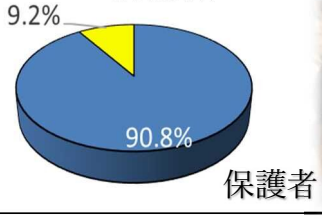


「あたたかく聴く　やさしく話す」は、本校の合言葉として浸透しています。授業では、話を聴いて内容を理解する力、そして、聴いた内容をわかりやすく説明する力を育てています。その際、相手のことを思う気持ちが根底にあります。また、その姿は授業だけでなく、生活や行事等、学校生活全体で大切にしてきました。低学年から丁寧に指導を積み重ね、高学年になるにつれて高まりがみられています。今後も、本校の子供たちのよさである相手を大切にして聴いたり伝えたりする姿、そして自分の思いをもって語る姿を伸ばしていきたいと思います。

6　自分には良いところがある（児童）

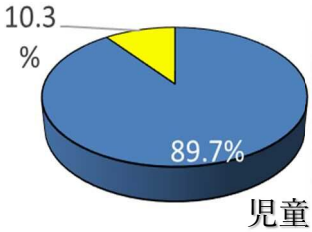


お子さんは、自分には良いところがあると感じている（保護者）



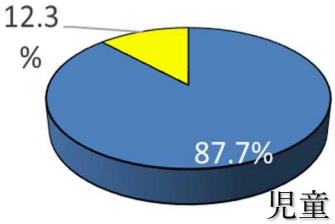
どの子にも良さがあります。その良さを実感したり、認められたりする経験をたくさん積み重ね、自分を大切にしていってほしいと考えます。現在の課題として、自分に自信がもてない姿もみられていることから、子供たちが自分のよさを存分に感じ、生き生きと活動する姿をめざして、「子供の自己実現を支える」ことに全職員で取り組んでいきます。地域や家庭においても、あたたかな声をかけていただくことで、子供たちの健やかな成長につながります。今後とも家庭や地域と連携しながら支援していければと思います。

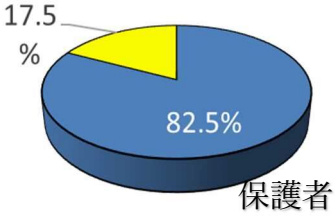
7　友だちの良いところを見つけている（児童）



教育活動全体を通して、ピア・サポートの取組を進めています。学級の帰りの会や昼の放送等、友だちの良さを伝える時間を意図的に作ってきました。そのような日々の取組を通して、「あたたかな心を実感する」ことができています。言葉で伝えることを大切に続けていきます。

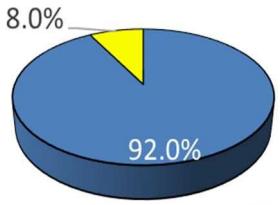
8　困った時に相談できる先生がいる（児童）　学校には困った時に相談できる先生がいる（保護者）



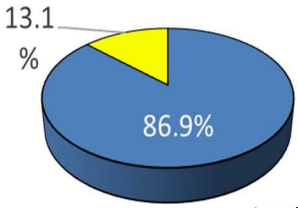


自分自身の力で、あるいは友だちと協力して困難を解決する力を養いながら、必要な時には大人が子供に寄り添うことができるよう努めています。どんな時も子供を中心に、子供が安心して学べる学校、保護者や地域の皆様にとっても相談しやすい学校であるよう、一層努めていきます。

9　週５日以上、家で勉強している（児童･保護者）



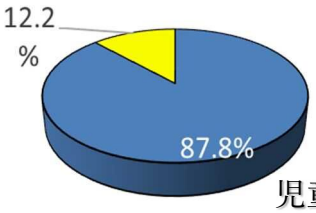
児童



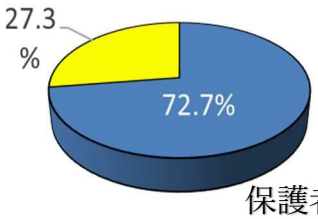
保護者

家庭での学習習慣が身についている子供の割合は高いと言えます。保護者の皆様が家庭で学習の見届けをしてくださっていることで、習慣として定着しているのだと思います。今後も、保護者の皆様にご協力いただくとともに、ICT を活用しながら子供一人一人に合った内容や発展的な内容等、子供が学習を自ら進めることができるよう啓発していきたいと考えています。

10　おはよう・こんにちは・さようならのあいさつが自分からできる（児童）
　　お子さんは、家庭や地域であいさつが自分からできる（保護者）



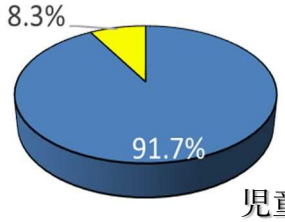
児童



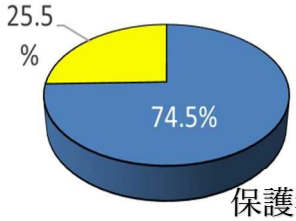
保護者

児童会や学級委員、あいさつボランティアが中心となってあいさつに取り組みました。代表委員会では、あいさつについて活発な話し合いがなされ、子供たちからあいさつを広めたいと動き出す姿がみられました。また、コミュニティースクールの取組として、「あいさつからはじまる自分づくり絆づくり」を掲げ、学校運営協議会の方々による朝のあいさつ運動も行われました。あいさつの本質的な価値を共有し、家庭・地域・学校、様々な場であいさつが自然にできることをめざして取り組んでいきます。

11　夢や目標を持っている。（児童）　　お子さんは夢や目標を持っている。（保護者）



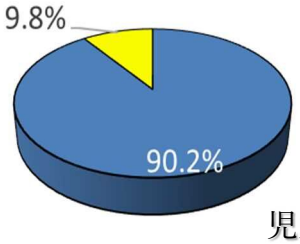
児童



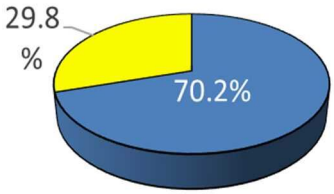
保護者

子供は、夢や目標を持って生活していることがわかります。また、目標をもつとともに振り返りにも力を入れてきました。子供が、自分の夢や目標に向かって生き生きと活動し、振り返りを繰り返しながら、子供が自分の成長を実感できるようにサポートしていきます。

12 ゲーム機、スマートフォン、パソコン等を家の人との約束を守って使っている。（児童･保護者）



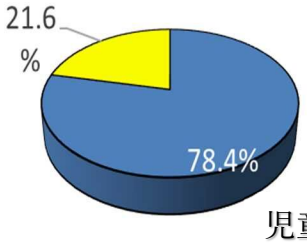
児童

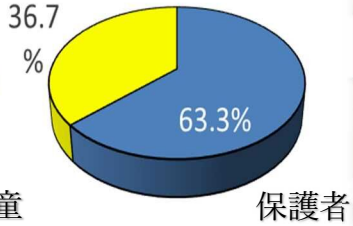


保護者

今年度から全学年で、デジタル・シチズンシップ教育を進めました。外部講師による講座や学年の発達段階に応じた情報モラル指導を行っています。今後も、身近な情報機器とうまくつき合い、活用していけるように、地域や家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思います。

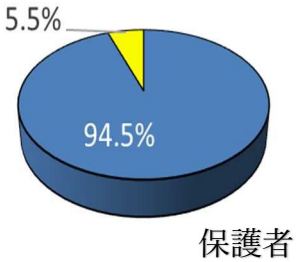
13　家読をしている（児童･保護者）





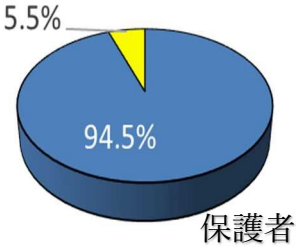
青島地区小中学校では、毎月第３日曜日を「家読の日」としています。学校では、図書ボランティアやペア活動による読み聞かせも充実しています。電子図書の活用も始まりました。今後も本に親しむ機会を増やしていきたいです。

14　お子さんは子供会や地域の行事に進んで参加している。（保護者）



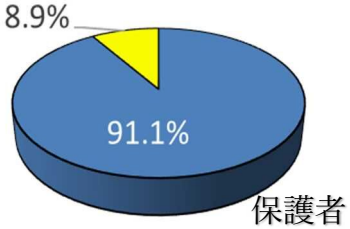
「子は地域の宝」と地域の方々は子供たちを大切に、地域のつながりの中で子供たちを育てようと活動してくださっています。子供たちが地域の活動に積極的に参加することで、地域に愛着を持ち、地域に貢献する力を高められると考えます。つながりを大切にできる子供を育てていきたいです。

15　学校は授業や学校行事など、保護者や地域に開かれた取り組みをしている。（保護者）



家庭･地域･学校が一体となって、子供の成長を支えていきたいと考えています。今年度は、校内音楽会を公開することができました。学校サポーターズクラブやそうじボランティアなど、たくさんの皆様が、学校に来校してくださいました。学校の様子を積極的に発信したり、学校を公開したりすることで、開かれた学校づくりに努め、今後も学校運営協議会をはじめ、地域の皆様のお力をお借りしながら、地域・家庭と共にある学校づくりを進めていきます。

16　学校は学校だよりや学年だよりなどで、学校での子どもの様子を伝えている。（保護者）



今年度も学校だより、学年だより等で、児童の様子を伝えてきました。特に、学校だよりを毎月「さくらメール」で配信することで、タイムリーかつどこでも見られるようにしています。今後も、様々な方法で学校の「見える化」を進め、子供たちの様子を伝えていけるよう努めていきたいと考えます。

児童、保護者、職員に実施したアンケート結果を見ると、例年と同等またはそれ以上の数値が示されている項目が多くみられました。地域・保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子供たちは落ち着いた学校生活を送ることができています。

来年度に向け、今年度の取り組みの中から学んだことを生かして、学校教育目標「笑顔あふれる学校」、重点目標「学びを実感する・成長を実感する・あたたかな心を実感する」をめざし、職員一同、力を合わせ取り組んでいきたいと思います。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。